



## 2020年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年9月2日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東  
 コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197  
 四半期報告書提出予定日 2019年9月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年4月期第1四半期の連結業績（2019年5月1日～2019年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第1四半期	130,367	△6.6	6,207	2.3	5,882	△7.8	3,658	6.6
2019年4月期第1四半期	139,568	2.3	6,068	△4.0	6,381	3.9	3,431	△7.1

(注) 包括利益 2020年4月期第1四半期 2,690百万円 (△30.4%) 2019年4月期第1四半期 3,863百万円 (△7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第1四半期	30.13	30.06
2019年4月期第1四半期	28.13	28.06

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下(参考)をご覧ください。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第1四半期	301,353	148,911	49.0
2019年4月期	303,981	150,923	49.2

(参考) 自己資本 2020年4月期第1四半期 147,775百万円 2019年4月期 149,661百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年4月期	—	—	—	—	—
2020年4月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下(参考)をご覧ください。

### 3. 2020年4月期の連結業績予想（2019年5月1日～2020年4月30日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	276,500	0.4	13,400	1.4	14,000	1.3	9,000	3.5	72.75
通期	510,000	1.2	23,000	0.8	22,800	△1.8	14,200	△1.8	114.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下(参考)をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年4月期1Q	89,212,380株	2019年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	2020年4月期1Q	1,032,268株	2019年4月期	656,736株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年4月期1Q	88,374,191株	2019年4月期1Q	88,617,488株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第1四半期	30.13	30.06
2019年4月期第1四半期	28.13	28.06

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年4月期	—				
2020年4月期(予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
	円 銭
第2四半期(累計)	77.73
通期	124.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年4月期1Q 34,246,962株 2019年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

2020年4月期1Q 1,190,361株 2019年4月期 1,189,831株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年4月期1Q 33,056,772株 2019年4月期1Q 33,343,628株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復が続きました。

飲料業界におきましては、各社の販売競争が継続するなか、特に東日本を中心とした低温・長雨の影響もあり、事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。

売上高	1,303億67百万円（前年同期比6.6%減）
営業利益	62億7百万円（前年同期比2.3%増）
経常利益	58億82百万円（前年同期比7.8%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	36億58百万円（前年同期比6.6%増）

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### <リーフ・ドリンク関連事業>

##### [国内茶葉（リーフ）製品]

「伊藤園大茶会」や「おいしいお茶のいれ方セミナー」の開催を通じて、暑さの増してくるこの季節には氷水出しで緑茶の甘みを手軽にお楽しみいただくなど、季節に応じたおいしいお茶のいれ方、お茶の楽しみ方をご提案し、ご好評をいただいております。

##### [国内飲料（ドリンク）製品]

当社主力製品「お〜いお茶」は、1989年2月1日発売して以降、日本の文化である“お茶”が日本人の暮らしにおいて“より身近な飲み物”となるよう、世界初のペットボトル入り緑茶飲料の発売などに取り組み、新しいライフスタイルの発展に寄与してまいりました。今回、「お〜いお茶」発売30周年を記念して、これからも地域に根ざして日本全国の皆さまに愛される“日本のお茶”を目指し、47都道府県ごとの日本を代表する名所や名物をパッケージにデザインした「お〜いお茶 緑茶」「同 濃い茶」「同 ほうじ茶」を本年5月27日より期間限定で発売しご好評いただきました。今後も、お茶のリーディングカンパニーとして、平成とともに歩んだ「お〜いお茶」が、「もっと身近な“日本”のお茶」として愛されるよう、さらなる発展を目指し、挑戦し続けてまいります。なお、「お〜いお茶」ブランドが、「ナチュラルヘルシーRTD緑茶飲料（最新年間売り上げ）」販売実績世界一としてギネス世界記録に認定され、本年5月23日に公式認定証が授与されました。

むぎ茶飲料No.1ブランド「健康ミネラルむぎ茶」では、新製品として、本年3月より「健康ミネラルむぎ茶 すっきり健康麦ブレンド」を発売しております。すっきりした味わいの中にも、「麦の甘みと香ばしさ」をしっかりと感じていただけるカフェインゼロのむぎ茶飲料（乳児用規格適用食品）です。引き続き健康的な暮らしをサポートするとともに、今後も伸長が見込まれるむぎ茶飲料No.1ブランド「健康ミネラルむぎ茶」の更なるシェア拡大を目指してまいります。

コーヒー飲料である「TULLY'S COFFEE」は、スペシャルティコーヒーショップ「タリーズコーヒー」で味わうようなおいしさを追求し続けており、今後もお客様の多様な嗜好に沿った展開を行ってまいります。

##### [海外茶葉（リーフ）製品]

米国、中国を中心に「グローバルブランド」で展開する「MATCHA GREEN TEA」の積極的な販売を継続して行ってまいりました。

##### [海外飲料（ドリンク）製品]

健康志向の高まりや日本食ブーム等を背景に、「お〜いお茶」などの無糖茶飲料が順調に売上を伸ばしております。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は1,197億69百万円（前年同期比7.3%減）となり、営業利益は52億69百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、人気のタピオカを楽しめる季節限定ドリンク「タピオカいちごカフェオーレ」「タピオカほうじ茶ラテ」等を発売し、タピオカドリンクが伸長しました。また、季節限定「&TEA グレープフルーツセパレートティー」はじめ、ティービバレッジも好調に推移しました。フードでは、7月に「小エビの明太パスタ～白ワイン仕立て」を発売しご好評いただきました。新規出店も順調に進み、総店舗数は739店舗になりました。引き続き積極的な投資とあわせて既存店舗の改装などによる活性化を図り、店舗競争力を強化することで、スペシャルティコーヒーショップとしての更なるブランド強化を図ってまいります。

この結果、飲食関連事業の売上高は89億28百万円（前年同期比4.5%増）となり、営業利益は10億35百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

<その他>

売上高は16億69百万円（前年同期比6.4%減）となり、営業利益は2億10百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は3,013億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億28百万円減少いたしました。これは主に「現金及び預金」が117億74百万円減少、「受取手形及び売掛金」が29億47百万円増加、「商品及び製品」が68億91百万円増加、「リース資産」が10億19百万円減少したことによるものであります。

負債は1,524億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億15百万円減少いたしました。これは主に「支払手形及び買掛金」が39億44百万円増加、「未払法人税等」が22億68百万円減少、「賞与引当金」が23億81百万円減少したことによるものであります。

純資産は1,489億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億12百万円減少いたしました。これは主に「親会社株主に帰属する四半期純利益」による「利益剰余金」が36億58百万円増加、「剰余金の配当」による「利益剰余金」が25億97百万円減少、「自己株式」が19億81百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年6月3日に発表した業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	63,738	51,964
受取手形及び売掛金	56,581	59,528
商品及び製品	35,079	41,970
原材料及び貯蔵品	8,509	10,300
その他	13,615	12,980
貸倒引当金	△74	△66
流動資産合計	177,449	176,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,289	22,112
土地	22,335	22,256
リース資産(純額)	19,389	18,370
その他(純額)	20,170	20,886
有形固定資産合計	84,186	83,626
無形固定資産		
のれん	14,729	14,118
その他	4,227	3,888
無形固定資産合計	18,956	18,006
投資その他の資産		
その他	23,638	23,279
貸倒引当金	△248	△239
投資その他の資産合計	23,389	23,040
固定資産合計	126,532	124,673
資産合計	303,981	301,353
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,181	34,125
短期借入金	2,020	2,020
リース債務	5,051	4,718
未払費用	24,839	26,011
未払法人税等	4,660	2,391
賞与引当金	4,370	1,989
その他	5,350	5,222
流動負債合計	76,473	76,479
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	44,522	44,172
リース債務	7,450	6,995
退職給付に係る負債	10,313	11,616
その他	4,299	3,179
固定負債合計	76,585	75,963
負債合計	153,058	152,442

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	18,640	18,644
利益剰余金	119,242	120,303
自己株式	△4,547	△6,529
株主資本合計	153,248	152,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,279	2,010
土地再評価差額金	△6,053	△6,053
為替換算調整勘定	671	△36
退職給付に係る調整累計額	△484	△476
その他の包括利益累計額合計	△3,586	△4,556
新株予約権	133	139
非支配株主持分	1,127	996
純資産合計	150,923	148,911
負債純資産合計	303,981	301,353

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## (四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)
売上高	139,568	130,367
売上原価	74,604	67,813
売上総利益	64,963	62,553
販売費及び一般管理費	58,895	56,346
営業利益	6,068	6,207
営業外収益		
受取利息	17	21
受取配当金	41	40
為替差益	239	—
持分法による投資利益	60	26
その他	136	183
営業外収益合計	496	271
営業外費用		
支払利息	129	96
為替差損	—	388
その他	53	110
営業外費用合計	183	596
経常利益	6,381	5,882
特別利益		
固定資産売却益	2	2
固定資産受贈益	—	1
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産廃棄損	125	10
投資有価証券評価損	—	4
減損損失	—	4
たな卸資産廃棄損	672	—
災害による損失	36	—
特別損失合計	834	19
税金等調整前四半期純利益	5,549	5,866
法人税等	2,027	2,177
四半期純利益	3,521	3,689
非支配株主に帰属する四半期純利益	89	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,431	3,658

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)
四半期純利益	3,521	3,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△268
為替換算調整勘定	228	△738
退職給付に係る調整額	32	8
持分法適用会社に対する持分相当額	83	△1
その他の包括利益合計	342	△999
四半期包括利益	3,863	2,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,784	2,688
非支配株主に係る四半期包括利益	78	1

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2018年5月1日至2018年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	129,241	8,542	1,784	139,568	—	139,568
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	115	4	768	888	△888	—
計	129,356	8,546	2,553	140,456	△888	139,568
セグメント利益	5,124	1,013	246	6,383	△315	6,068

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△373百万円、セグメント間取引57百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2019年5月1日至2019年7月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	119,769	8,928	1,669	130,367	—	130,367
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	78	3	768	851	△851	—
計	119,848	8,931	2,438	131,218	△851	130,367
セグメント利益	5,269	1,035	210	6,516	△309	6,207

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△371百万円、セグメント間取引62百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。